

鎌倉市川喜多映画記念館 企画展のご案内

〔企画展〕映画字幕翻訳の仕事——1秒4文字の魔術

会期：2025年1月19日（日）－3月30日（日）

企画展観覧料：一般200円、小・中学生100円 ※鎌倉市民は無料（要証明書）



日本では外国映画を鑑賞する際、伝統的に吹き替えではなく字幕をつけて観ることが好まれ、戦前から主流となってきました。必然的に映画字幕の文化は高度に発達し、目で瞬時に読むのに適した字数や字幕の出るタイミングなど、作り方の骨組みが確立されました。フィルムの画の上に字幕をのせることから「スーパーインポーズド・タイトルズ (superimposed titles)」と呼ばれるこの特殊技能は、日本では「スーパー字幕/字幕スーパー」と呼ばれています。初の日本語スーパー字幕付き映画は1931年公開の『モロッコ』で、以来外国映画には優れた翻訳者たちの手によっていくつもの名訳が刻み込まれてきたのです。この『モロッコ』の字幕を手がけた田村幸彦（たむら よしひこ）に抜擢され、スーパー字幕の「専門職第一号」となった清水俊二（しみず しゅんじ）をはじめ、『カサブランカ』（1942年）で「君の瞳に乾杯」という名訳を生み出した高瀬鎮夫（たかせ しずお）、川喜多夫妻が日本に紹介した『天井桟敷の人々』（1945年）や『第三の男』（1949年）、『禁じられた遊び』（1952年）など欧州映画の名作を翻訳した秘田余四郎（ひめだ よしろう）…と、これまで卓越した職人たちが映画全盛の時代を陰で支え、字幕文化の道を拓いてきました。

本企画展では、かつてタイトル・ライターが字幕カードを手書きしていた時代の制作プロセスやその歴史の変遷、映画字幕翻訳の仕事にまつわる事柄を関連資料とともに振り返ります。

また、字幕翻訳者が選出した「思い出の名セリフ」の数々を、映画イラストレーターとして知られる宮崎祐治のイラストとともに紹介します。

◆企画展見どころ◆

- ★『天井桟敷の人々』『望郷』『赤と黒』など川喜多夫妻が日本に紹介したフランス映画の名作の字幕を手がけた秘田余四郎の貴重な翻訳原稿などを展示
- ★戸田奈津子さんや松浦美奈さん、アンゼたかしさんなど現在も第一線で映画字幕を手がけている翻訳者の方々、十数名に「思い出の名セリフ」や忘れられないエピソードを寄せていただき、関連資料を展示しています
- ★「お楽しみはこれからだ」「君の瞳に乾杯」「完璧な人間などいない」「好いた同志には巴里も狭い」など映画史上の名セリフを、映画イラストレーターの宮崎祐治さんや和田誠さんのイラスト、ポスターとともにご紹介
- ★かつて手書きで字幕を制作していた時代のタイピングマシン、タイトルライターの手書きの字幕カード、銅板などを展示し、字幕の制作工程を詳しくご紹介

◆上映◆

- 『モロッコ』（1930年）
- 『邂逅（めぐりあい）』（1939年）
- 『第三の男』（1949年）
- 『神の道化師、フランチェスコ<デジタル・リマスター版>』（1950年）
- 『死刑台のエレベーター<ニュープリント版>』（1957年）
- 『ローラ』（1961年）
- 『スティング』（1973年）
- 『カンパセーション…盗聴…<4Kレストア版>』（1974年）
- 『思春期（旧題：ジャンヌ・モローの思春期）』（1979年）
- 『愛と哀しみの果て』（1985年）
- 『プライベート・ライアン』（1998年） *PG12作品
- 『瞳をとじて』（2023年）

*『カンパセーション…盗聴…<4Kレストア版>』は2K上映
映画鑑賞料：一般1000円、小・中学生：500円（展示観覧料含む）

◆イベント◆

チケット発売日：2月8日（土）

4ヵ国語の映画字幕を手掛けてきた字幕翻訳者の仕事を振り返る

2025年3月29日（土）13:00～

特別上映
『瞳をとじて』+トークイベント

ゲスト
原田りえさん
（字幕翻訳者）

英語、スペイン語、ポルトガル語、フランス語の映画字幕翻訳者である原田さんをお招きして、字幕翻訳を手掛けた作品の一つ『瞳をとじて』を振り返ります。また、多言語を翻訳する楽しさ・難しさ、映画祭と劇場公開作に携わるときの違いや魅力などを語っていただきます。

特別上映料金：一般1600円、小・中学生：800円（展示観覧料含む）



お問い合わせ：鎌倉市川喜多映画記念館（担当：馬場）

〒248-0005 神奈川県鎌倉市雪ノ下 2-2-12

TEL: 0467-23-2500 / FAX: 0467-23-2503

MAIL: contact@kamakura-kawakita.org

HP: <https://kamakura-kawakita.org>

ギャラリートーク：2月28日（金）・3月21日（金） 各日13:00～

企画展「映画字幕翻訳の仕事——1秒4文字の魔術」の見どころを担当学芸員が紹介します。（*要展示観覧料 終了後、希望者は旧和辻邸をご見学いただけます。）

※企画展情報や詳しい上映スケジュールは当館HP
（<https://kamakura-kawakita.org>）をご覧ください。

Kamakura City Kawakita Film Museum
鎌倉市川喜多映画記念館